

学位被授与者氏名	長野 夏海（ながの なつみ）
論文題目	「障害者のきょうだいの時間的展望に関する研究 －親の養育態度の違いに着目して－」
論文審査結果の要旨	<p>障害児・者のきょうだいに関する研究は、最近、急速に関心が高まってきた研究主題であるが、そのほとんどが児童期や思春期を対象として、きょうだい葛藤や欲求不満といった心理的問題を抱えていることに焦点を当てている。こうした先行研究に対して、本研究は、同胞との関係性、すなわち同胞が自分にとってどのような存在であり、その者に対してどのような感情を抱いていたかが、幼少期から青年期もしくは壮年期に至るまでの時間的経過のなかで、どのように推移していくのか、またそこに変化が生じる際の要因は何かを明らかにしようとした。そして、関係性の変化に親の態度が介在することを示している。</p> <p>取り上げた事例数が少なく、障害の種別や程度も統制されていないため、説得力に欠けるものの、この領域における研究の方向性を示した点は評価できる。</p> <p>以上のことから、本論文は修士論文としての要件を満たしていると言える。</p> <p>平成31年2月19日に、北九州市立大学北方キャンパス4号館4-301教室において、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。</p>